

男の「子育て」全国へ披露

八王子の保育園経営者ら あす渋谷で大会

とかく、女性中心になりがち
な保育の世界。そんな中で、八
王子市内の私立保育園の園長さ
ら男性ばかりで作る八王子保
育研究会（藤森平司会長）が結
成されて四年目になる。「保育
の専門的知識を地域社会全体の
ものにしたい」と同研究会が主
催して開いてきた乳幼児の世界
展や、手作りのおもちゃの研修会

など異色の活動が評判になり、
三十日、渋谷区神宮前五丁目の
このもので開かれる全国保育
研究大会で、その成果を発表す
る。

会員は三十九歳の藤森さんを
最年長に、全員二代。いずれ
も、園長や副園長の肩書を持
つ。
会の発足は、八五年十月。市

内に市立二十、私立五十四の合
計七十四もの保育園がありなが
ら、横のつながりはほとんどな
かった。保育園の経営者の世代
交代期だったこともあり、藤森
さんらが「若い者たちで会を作
ろう」と話し合った。名簿を手
がかりに一軒一軒保育園を訪問
して勧誘、まず九人の仲間が集
まった。

話をするうちに、互いの保育
に対する熱意がわかってきた。
出生率の低下による園の定員割
れなどの事態に直面し、保育園
の存在理由が改めて問われるこ
とになった。

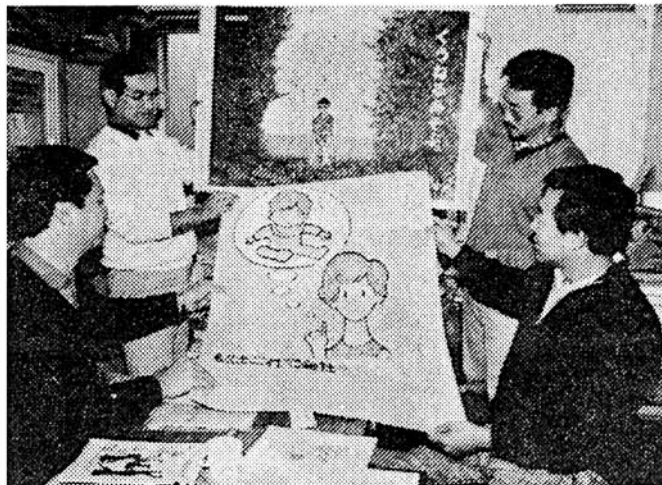
そこで計画したのが一連の保
育展だ。第一回の乳幼児展は、
「より賢い育児をするために」
のテーマで八六年一月に開い

た。保母さんや栄養士などが、
会場で見学、栄養、健康につい
て相談を受け付けるコーナーな
どを設けたこともあり、千人も
の入場者を集めた。

昨年十一月の第三回乳幼児展
に至る活動を今年五月、都保育
研究大会で発表したところ、大
好評で、七月の関東ブロック研
究会、さらには全国大会、と発
表の場は広がった。

今年の乳幼児展は来月二、三
日の二日間、JR八王子駅ビル
八階の市民ホールで予定されて
いる。

乳幼児展の問い合わせは、省
我保育園の藤森さん（〇四六
一四六―七八三六）へ。



第4回乳幼児展に向けて準備に忙しい研究会のメン
バーたち＝八王子市大和田町7丁目の省我保育園で